なんでもインフォ

2021 年 8月

SDGs～持続可能な開発目標～

■ はじめに

SDGs という言葉をテレビや新聞など日常生活で耳にするようになりました。2020 年 12 月に実施された朝日新聞社の調査によると、SDGs という言葉を聞いたことがある人の割合が 5 割程度で、ほぼ 2 人に 1 人が聞いたことがあるようです。

今回は、この SDGs について取り上げたいと思います。

■ SDGs とは

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015 年に国連加盟の 193 カ国すべてが賛同して採択された、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。前身の MDGs（Millennium Development Goals：ミレニアム開発目標）は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGs では先進国も含めた全ての国が取り組むべき目標となっています。

SDGs は、2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。これらのゴールは社会、経済、環境の３側面から捉えた、世界が直面する課題を網羅的に示しています。



持続可能な開発目標の概要【外務省】

■日本の達成状況は…

さて、2015 年に採択された SDGs ですが、現在の達成状況はどのようになっているのでしょうか。

2019 年 9 月に開催されたサミットで、グテーレス国連事務総長は、「取り組みは進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からは程遠く、今、取り組みを拡大・加速しなければならない。2030 年までを SDGs 達成に向けた『行動の 10 年』とする必要がある」と世界各国の進捗に対して危機感を表明しました。

今年の 6 月に公開された SDGs の達成度進捗状況に関する国際レポート、Sustainable Development Report 2021（持続可能な開発レポート）によると、日本での達成状況は、18 位（165 カ国中）と比較的高い順位となっています。項目ごとの達成度を見てみると、教育、イノベーション、平和で目標達成しており、水・衛生、成長・雇用では取り組みが順調に進んでいると評価されています。一方、取り組みの強化が必要な項目も多く、特にジェンダー、気候変動、海洋資源、陸上資源、実施手段は主要な課題とされています。

達成状況を向上させるためには、より一層の周知が必要となり、SDGs 未来都市（岩手県では岩手町、陸前高田市、一関市が選定）や、ジャパン SDGs アワードなどの取り組みの活発化が望まれます。



日本の SDGs 達成状況【Sustainable Development Report 2021】

■ 土木・建設業界との関係

「SDGs アクションプラン 2021（SDGs 推進本部）」による、“「SDGs 実施方針」の８つの優先課題に関する主な取組”の１つとして、持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備が挙げられています。

近年、世界中で気象災害が頻発しており、日本でも、台風による豪雨災害などにより大きな被害がもたらされています。過去の災害の経験も踏まえ、防災・減災の取組を引き続き進めていくことが重要です。また、土木・建設業界としては、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靭化」を引き続き推進していくとともに、国外に向けても日本の経験を広めていく必要があります。

■ おわりに

日本の取り組みは一定の評価がされていますが、目標達成までは道半ばであり、2030 年までに達成するためには、より一層の SDGs の周知や、個人で何ができるかの提示などが必要になると考えます。そして、この取り組みが推進されることによって、誰しもが暮らしやすい世の中になることを望みます。

〈参考とした主な資料〉
日本経済新聞出版『図解 SDGs 入門』
外務省 HP
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html

（発行）株式会社 昭和土木設計 （岩手県紫波郡矢巾町流通センター南４丁目１番 23 号 Tel 019-638-6834 Fax 019-638-6389）

弊社は道路・河川・橋梁等の計画・設計、BIM/CIM、i-Construction、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。

”なんでもインフォ“のバックナンバーは https://showacd.co.jp をご覧ください。